

2026年2月20日

各位

会社名 株式会社 湯 羽
 代表者名 代表取締役社長 湊 剛 宏
 (コード番号：9330 東証グロース・名証ネクスト)
 問合せ先 執行役員経理財務部長 奥野 木 勲
 URL <https://www.ageha.tv/contact/ir/#content>

2026年9月期 第1四半期決算 質疑応答集

2026年2月13日（金）に発表いたしました2026年9月期第1四半期決算に関し、発表以降に株主・投資家などの皆様からいただいたお問合せ内容および、当社で想定していた質疑応答をまとめましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお、皆様にご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q1 株主優待導入（常設）の目的を教えてください。

A1 より多くの株主の皆様へ、中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度の継続を行うことといたしました。本優待制度の変更は、当社株式の投資魅力の向上に寄与するものと考えております。優待継続の内容は、基準日（毎年9月30日及び3月31日）における当社株主名簿に記載または記録された、300株（3単元）以上を半年以上継続して保有されている株主様を対象といたします。対象の株主様に対して、各8,000円相当（年間16,000円相当）のデジタルギフト®を贈呈いたします。

※詳細は当社IRサイト「株主優待制度の変更（継続）に関するお知らせ」をご覧ください。

株主還元の強化 上場記念優待の変更および株主優待の拡充(常設優待の導入)


01. 上場記念優待の変更

より使いやすく

QUOカードから
デジタルギフト®に変更



保有株式数	特別株主優待の内容	特別株主優待の贈呈時期
100株以上	QUOカード 5,000円分	2026年6月ごろ

デジタルギフト® 5,000円相当

※2025年3月31日、2025年9月30日及び2026年3月31日を基準日とする株主名簿に100株以上の保有を同一株主番号で3回連続して記載または記録されている株主様。

02. 株主優待の拡充

初回の2026年9月末基準日に株主優待の対象となるためには、2026年3月31日および2026年9月30日を基準日とする株主名簿に300株以上の保有を同一株主番号で2回連続して記載または記録されていることが必要となります。

半年以上
300株以上保有の株主様を対象に
デジタルギフト®

年間 16,000円相当を贈呈

(中間・期末各8,000円相当)

基準日	保有株式数	優待内容	贈呈時期
毎年9月末日	300株以上	デジタルギフト® 8,000円相当	12月頃
毎年3月末日	300株以上	デジタルギフト® 8,000円相当	6月頃

各基準日(9月末日及び3月末日)における当社株主名簿に記載または記録された3単元(300株)以上を半年以上継続して保有されている株主様を対象に、デジタルギフト®8,000円相当(年間16,000円相当)を贈呈いたします。

優待に関する情報は当社IRニュースをご覧ください。

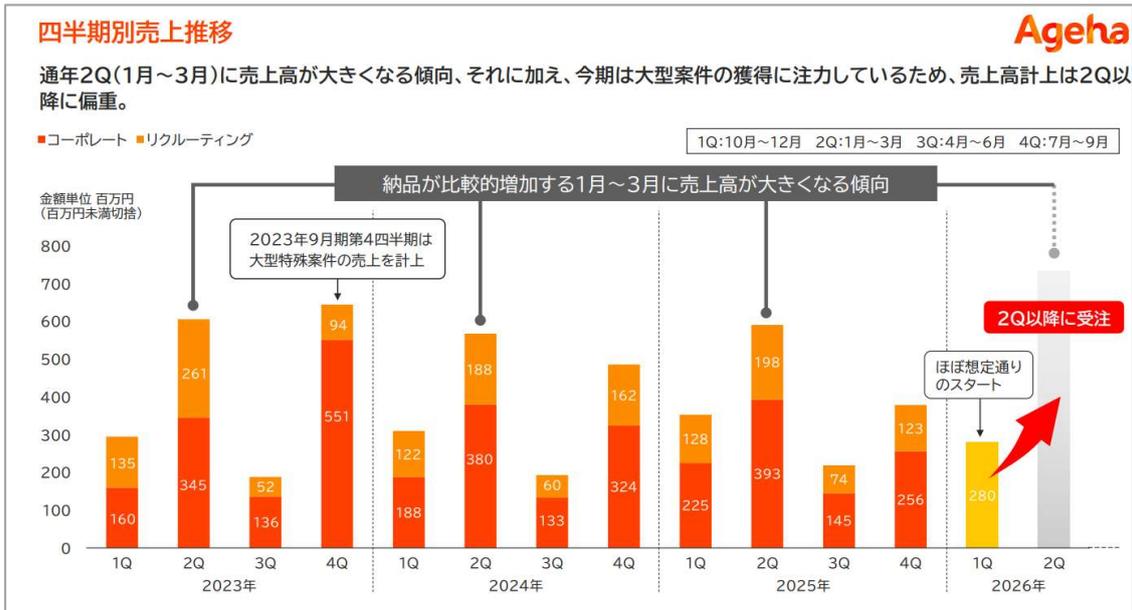
© AGEHA Inc. 3

Q2

第1四半期の業績について、どう評価していますか？

A2

ほぼ想定通りのスタートです。今期は「稼げる領域」への集中を行いサービスポートフォリオを変更し、それに伴い組織を強化しました。そのため案件が大型化する傾向があり、2Q以降に案件が集中しております。受注残高は順調に積み上がっている状況です。前年同期比で原価率は上昇しましたが、販管費は人材を強化した一方で、コストコントロールを適切に進め、前年同期の水準を維持しております。2Q以降に売上高、利益ともに順調に推移する見込みです。

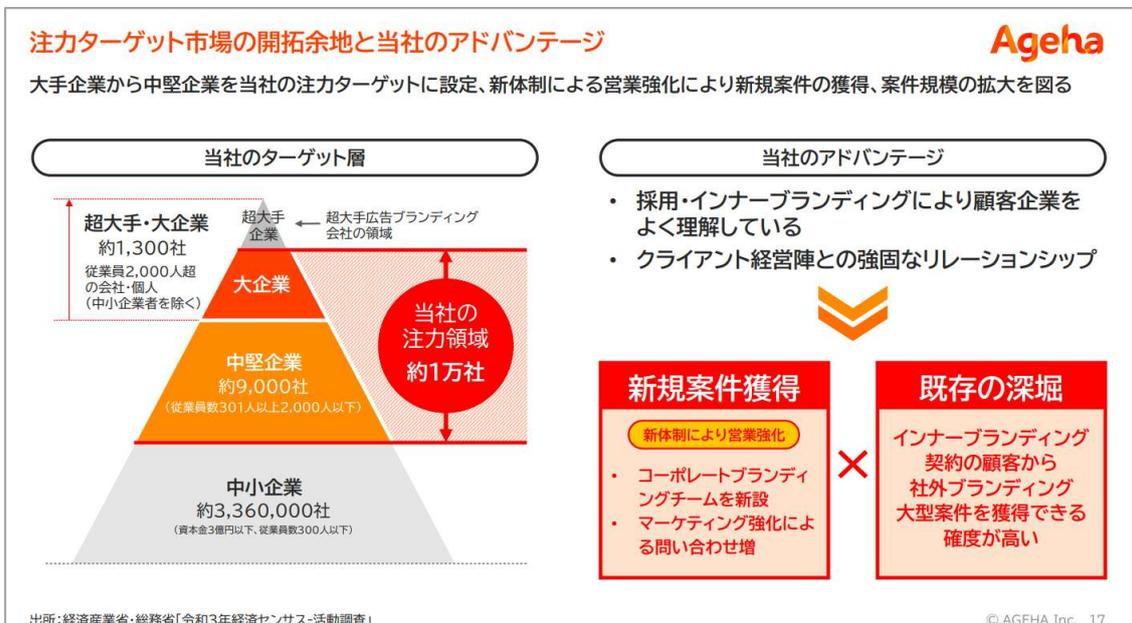


Q3

コーポレートコミュニケーションやインナーブランディング領域が前年同期と比較すると進捗が軟調のようですが、理由は何でしょうか？

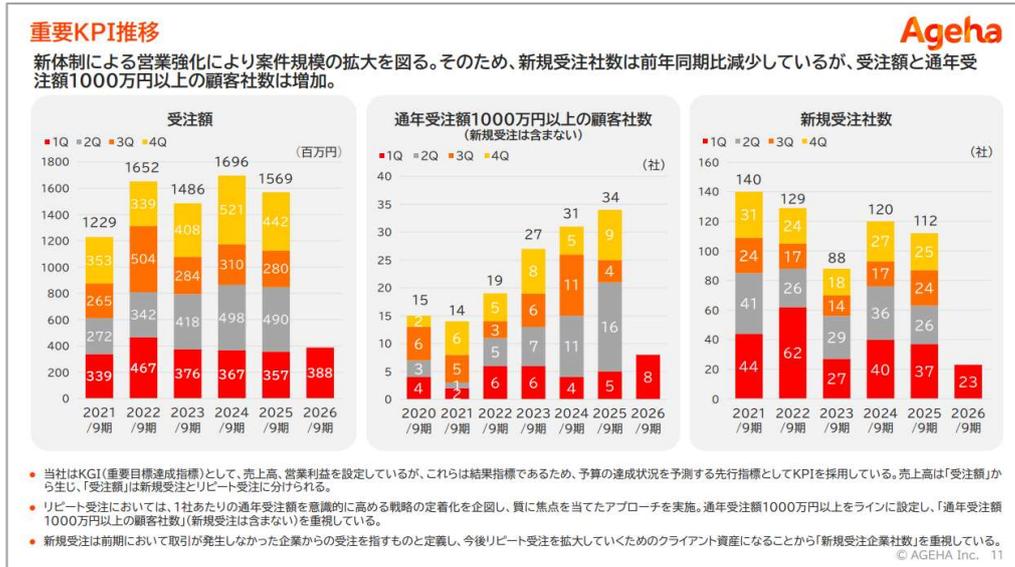
A3

当社のターゲット領域は大企業から中堅企業です。最近ブランディング強化の動きがあり、案件も大型化してきております。そういった流れをくみ、前期に体制を強化しております。進捗が軟調に見えるのは大型化に伴いリードタイムが長期化しているためです。受注残高は増えており、通期業績予想達成に向けて順調に進捗しております。



Q4 重要KPIの推移について教えてください。

A4 新体制による営業強化により案件規模の拡大を図っております。そのため、新規受注社数は前年同期比で減少しておりますが、受注額と通年受注額1000万円以上の顧客社数は増加しております。当社の今期の戦略を反映しており、計画通りの進捗と考えております。



以上